

業界団体、施工業者及び学校と連携した 防災学習の取り組み



立山砂防事務所では、立山カルデラを中心として常願寺川流域での砂防施設の整備を進めるとともに、流域の防災力向上を図り、災害に強いまちづくりに資することを目的に、体験学習会や防災訓練への参加など、防災学習の取り組みを進めています。

その一環として、業界団体、施工業者と地域の学校が連携した防災学習が今年度実践されました。



スライドを使って砂防のしくみを解説



子どもたちはドローンに興味津々です

〔学校×施工業者〕

11月19日 出前講座

立山町立釜ヶ淵小学校

では、地域を守る立山砂防の学習として出前講座が開かれました。

立山砂防の施工業者で、地元で事務所を構える松嶋建設株式会社の松嶋専務が講師を務め、スライドや砂防工事で実際に使用する機材を使って、常願寺川の災害や砂防工事のことを詳しく解説しました。

資料提供：
松嶋建設株式会社

※【2016 第30回 斜面防災対策技術講演会】
主催／(一社)斜面防災対策技術協会富山支部
富山県治水砂防協会
NPO法人富山県砂防ボランティア協会

〔学校×業界団体×立山砂防事務所〕

9月4日 子供防災教室

(一社)斜面防災対策技術協会富山支部の主催により、立山・常願寺川の自然、砂防、治水や防災事業などについて学ぶ「子供防災教室」が開かれました。

教室には、立山町立釜ヶ淵小学校の児童15名が参加し、立山砂防事務所の案内で、立山カルデラの砂防施設などを見学しました。

子どもたちは、富山の人々の当たり前の暮らしを守るため、多くの人々が工事に従事している様子を目の当たりにしました。



白岩砂防堰堤を守るアンカー工を見学



立山砂防の原点も訪れました

〔学校×業界団体〕

2月12日 講演会での学習発表

立山町立釜ヶ淵小学校の児童たちが、現場見学と座学で学んだことをまとめ、斜面防災対策技術講演会※で学習発表に臨みました。

発表では、安全に見える富山平野でも「災害は忘れた頃にやってくる」ことに気づき、災害への備えを話し合ったことにふれ、立山の魅力を守るために、できることを探し、努力していきたいと力強い思いを伝えてくれました。

左／立山の魅力を劇で伝えてくれた子どもたち
右／学習発表の様子



自分の命を守るために
災害への準備
そして 心の準備を